

滋賀県いじめ再調査委員会 次第

日時：令和4年10月17日(月)14:30～

場所：県庁本館4階 4-A会議室

- 1 開会
- 2 任命書交付
- 3 挨拶
- 4 委員紹介
- 5 委員長選任
- 6 委員長職務代理者の指名
- 7 議事（報告事項）
 - （1）公立・私立の小学校・中学校・高等学校および特別支援学校におけるいじめの状況について
 - （2）滋賀県におけるいじめ防止対策について
- 8 閉会

滋賀県いじめ再調査委員会 委員名簿

(任期：令和4年5月28日から令和6年5月27日まで)

(敬称略、五十音順)

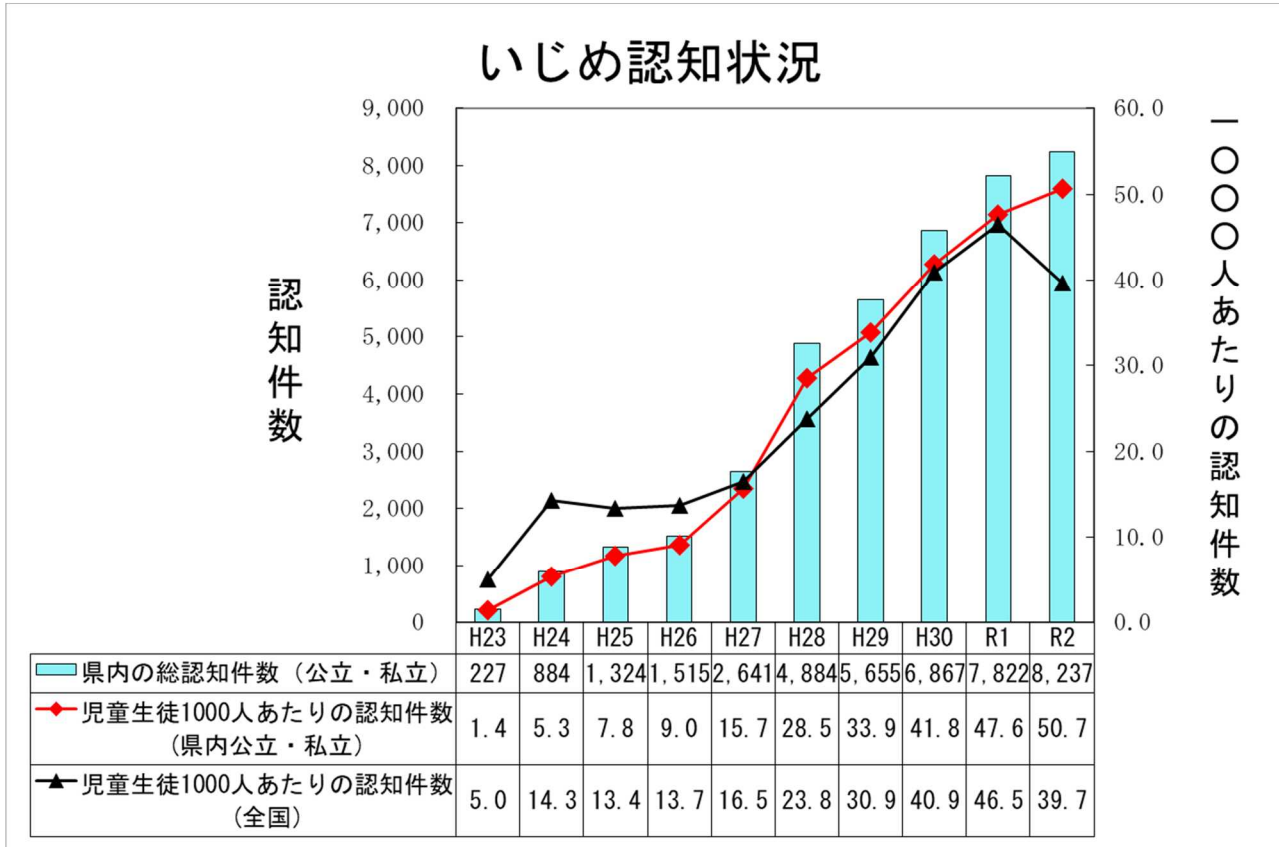
ふ り が な 氏 名	現 職 等	備 考
あらかわ ようこ 荒 川 葉 子	弁護士	再任
い い だ か お り 飯 田 香 織	臨床心理士	新任
かすがい としゆき 春 日 井 敏 之	立命館大学教授	再任
さかもと まさし 坂 本 昌 士	医師（精神科）	再任
す お う み ち こ 周 防 美 智 子	社会福祉士	再任

○滋賀県におけるいじめの状況（公立＋私立）

資料 1

（1）いじめの総認知件数

小・中・高等学校ならびに特別支援学校のいじめの総認知件数 8,237件
 【令和元年度より 415件増加】
 児童生徒1,000人あたりの認知件数 50.7件
 【令和元年度より 3.1件増加】



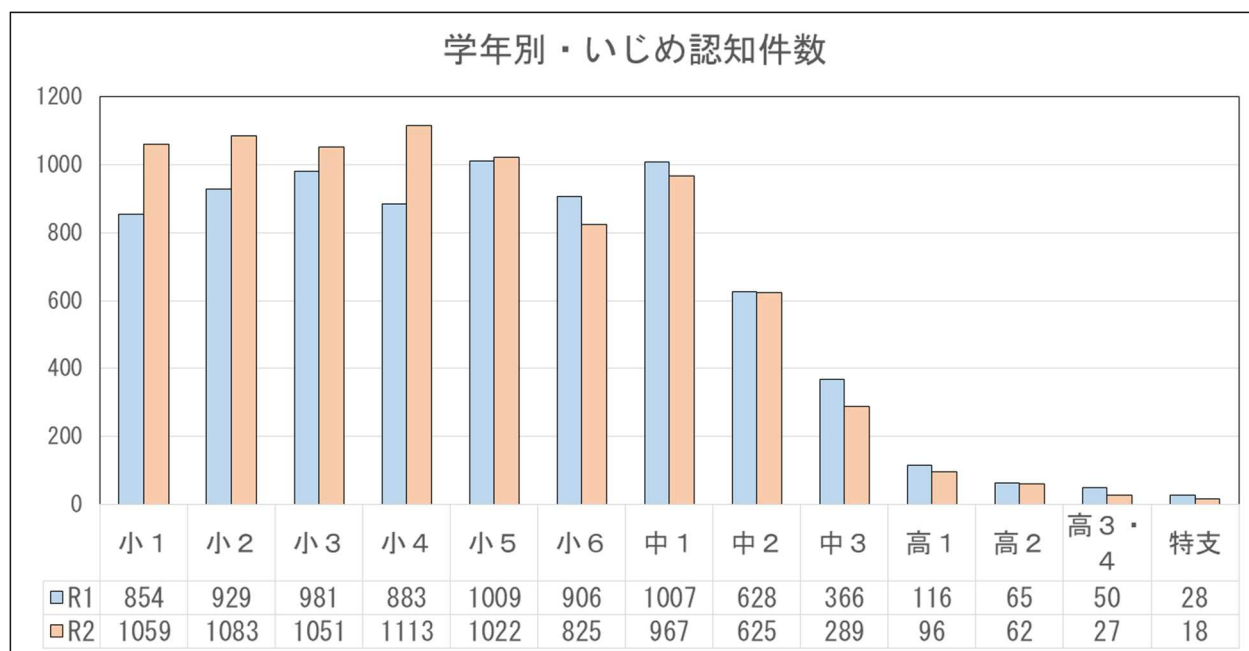
（2）学校種別ごとの認知件数

- ①小学校
 - ・ 認知件数 6,153件 【令和元年度より 591件増加】
- ②中学校
 - ・ 認知件数 1,881件 【令和元年度より 120件減少】
- ③高等学校
 - ・ 認知件数 185件 【令和元年度より 46件減少】
- ④特別支援学校
 - ・ 認知件数 18件 【令和元年度より 10件減少】

（3）いじめの認知学校数

- ①小学校認知校数 216校/221校 【令和元年度より 1校増加】
- ②中学校認知校数 100校/105校 【令和元年度より 6校減少】
- ③高等学校認知校 51校/65校 【令和元年度より 7校減少】
- ④特別支援学校認知校数 6校/15校 【令和元年度より 5校減少】

(4) 学年別・いじめ認知件数



(5) いじめの内容（態様）

※複数選択された内容のうち上位3つ

【小学校における多い内容】

- ① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる **49.7%**
- ② 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする **35.7%**
- ③ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする **29.4%**

【中学校における多い内容】

- ① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる **55.1%**
- ② 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする **19.2%**
- ③ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする **15.1%**

【高等学校における多い内容】

- ① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる **49.2%**
- ② パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる **27.0%**
- ③ 仲間はずれ、集団による無視をされる **18.9%**

【特別支援学校における多い態様】

- ① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる **27.8%**
- ② ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする **16.7%**
- 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする **16.7%**
- 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする **16.7%**

※上記の態様件数は複数回答が可能であり、構成比は各区分における総認知件数に対する割合で合計が100%をこえる

《滋賀県いじめ防止基本方針(平成29年9月改定)》

- いじめの問題への対応は、学校を含めた社会における最重要課題の1つ
- 「子どもの目線」に立ったいじめの把握と学校の組織的かつ迅速な対応による「いじめの解消」を目指す
- 児童生徒自らがいじめの問題について考え、議論する活動など、児童生徒自身による主体的な活動の推進

総合的な対策の推進

滋賀県いじめ問題対策連絡協議会

現状・課題

(R2年度 文部科学省問題行動等調査等)

いじめ認知件数・認知した学校の割合(全公立学校の合計)

	H30	R1	R2
いじめ認知件数(件)	6,847	7,797	8,223
認知した学校の割合(%)	93.6	96.6	95.1

いじめ発見のきっかけ(認知件数に対する割合%)

	H30		R1		R2	
	滋賀	全国	滋賀	全国	滋賀	全国
教職員等による発見	21.9	13.4	23.5	13.0	24.7	11.9
本人の訴えによる発見	34.3	18.2	33.3	17.4	33.4	17.5
本人を除く児童生徒による発見	10.5	3.5	9.7	3.4	9.9	3.3
その他(アンケート等)	33.3	64.9	33.5	66.2	32.0	67.3

①子どもの自尊感情の醸成やよりよい仲間づくりの課題

- ・「自分には、よいところがある」と回答:小学生35.2%、中学生30.6%(R3学・学状況調査)
- ・児童生徒によるいじめ防止に特化した取組の実施率 (R2県教委調べ)
小学校82.7% 中学校85.7% 高等学校58.8%

②教員の資質向上に係る取組や学校の組織体制の課題 (R2文部科学省問題行動等調査等)

- ・「パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる」の割合
小学校2.4%、中学校13.2%、高等学校26.0%
- ・SNS等によるいじめ事案の割合が増加傾向

③家庭・地域・関係機関との連携の課題 (R2文部科学省問題行動等調査等)

- ・PTAや地域の関係団体等と、いじめの問題について協議する機会を設けた学校
小学校60.9%、中学校65.3%、高等学校86.3%

対策・取組

組織的対応力の向上と子ども自身による主体的な取組の推進

①児童生徒が主人公となる学校づくり

- 学級づくり、話し合い活動の充実
- 児童会・生徒会による「絆」をつむぐ学級・学校づくりの推進
- 校内、中学校区内、市町内で子ども自身がいじめの問題を考え議論する取組

《関連事業等》

- ・いじめ問題サミット等の各市町への普及啓発

②教員の資質向上・校内組織体制の充実

- いじめ防止対策推進法に則った対応
- 事例検討など校内研修会の充実
- SCと協働した「心理授業」の実践
- いじめアンケートの工夫
- いじめ対策委員会による学校全体でのいじめ対策
- 保護者や児童生徒の意見を取り入れた学校いじめ防止基本方針の点検・見直し

《関連事業等》

- ・スクールカウンセラー等活用事業
- ・スクールソーシャルワーカー活用事業
- ・生徒指導・教育相談スキルアップ研修会
- ・指導主事による学校訪問

③関係機関等のサポート体制の充実

- スマートフォン等の使い方についての家庭でのルール作りや情報モラル教育の推進
- 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)等による学校のいじめ対策の評価・検証

《関連事業等》

- ・24時間子供SOSダイヤル
- ・こころのサポートしが(SNS相談)
- ・生徒指導緊急サポート事業(専門家派遣)
- ・滋賀県いじめ問題対策連絡協議会
- ・滋賀県立学校いじめ問題調査委員会
- ・学校と警察との連絡制度
- ・生徒指導緊急特別対応事業(SST)

【いじめ防止のための滋賀県宣言】

①いじめに対する3つの心

～強い心、優しい心、賢い心～

②認め助け合おう みんなの個性

③SNS つくるもつかうも同じ“人”

～あなたには画面の奥が見えますか?～

++令和元年度滋賀県いじめ問題サミットにて全中学校代表が作成++